

「訪問薬剤師」として 地域の医療を支えたい

アオノ薬局 葛西店

病院で処方された薬をもらう場所。薬局に対してそのようなイメージしか抱いていない人がほとんどではないだろうか。しかし、4月1日(木)に清砂大橋通り沿いにオープンしたばかりの『アオノ薬局葛西店』は、それ以外にも地域にとって大きな役割を果たす薬局だ。どのようなサービスを行っているのか、同店管理薬剤師の植草光明さんに話を聞いた。

患者と家族に寄り添う

在宅医療チームの一員

アオノ薬局グループの薬剤師は、窓口での処方せん対応はもちろん、「訪問薬剤師」としての業務を担当している。病院ではなく在宅で診察などの処置を受ける患者のもとへ薬を届けたり、服用の指導をしたりするのが主な

患者と家族に寄り添う
在宅医療チームの一員

アオノ薬局グループの薬剤師は、窓口での処方せん対応はもちろん、「訪問薬剤師」としての業務を担当している。病院ではなく在宅で診察などの処置を受ける患者のもとへ薬を届けたり、服用の指

導をしたりするのが主な

役割。通院が困難な状況にある患者が、在宅での訪問診療を希望した場合、医師や歯科医師は看護師、ケアマネジャー、ヘルパー、薬剤師などとチームを組んで診療にあたる。訪問薬剤師はその一員だ。

「薬の飲み忘れチェック

はもちろん、患者さんの

家族や看護師、ヘルパー

と連携したり、患者さん

自身が薬をとりやす

いよう、1日分ずつ

セットしたりと、薬

を飲みやすい環境を

つくっています。

それ以外にも、日

常生活で困っている

ことはないか尋ねた

れている家族の話

を丁寧に聞いてフオ

ロ一回事りすることも、大切な役割です」と植草さん。薬を届けるだけではなく、精神的な部分のケアまで行い、患者と家族に寄り添うのが、訪問薬剤師の仕事なのだ。

**綿密な情報共有で
一人一人をサポート**

アオノ薬局の訪問薬剤師は、医師や看護師、ケアマネジャーなどからなる『担当者会議』や、退院の前に主治医と訪問診療を担当する医師の間で行う『退院時カンファレンス』などにも参加して、患者の情報を漏れなくインプットしている。

それ以外にも「日々の情報共有に注力しています」と植草さん。それは、「患者さんそれぞれの状態、性格などによって、ベストな対応が違うから。チームで知恵、経験を結集して、最善策をどううと努力しています」。最近ではオンライン上のネットワークを使って情報共有を行うシステムを試験的に活用中とのこと。ガソの末期など最期の時間を自宅で過ごす人も少なくない。その場合の在宅医療では、点滴や注

射などを使うケースが多いが、アオノ薬局葛西店には『クリーンベンチ』という無菌調剤可能な設備があるため、高圧ロリーウェルや医療用オピロイド注射薬の調剤が可能。栄養剤の点滴治療や痛み止めの注射薬を準備できる環境が整っている。「訪問薬剤師のサービスを提供していること、設備が整っていることで、新規オープンながら地域の多くの医療機関の皆さんから好意的に受け入れていただいている。

目標のは、地域の皆さんにとって、拠り所となるような薬局。健康のこと、在宅医療のことなど何か気になることがあつたら、散歩がてらお気軽にご相談ください」

